

角館慕情（かくのだてぼじょう）

松下 幹生

夕陽に紅葉（もみじ）が 黄金に染まる
あなたと連れ立つ 角館
私が生まれて 育った街の
風情豊かな 城下町
ああ いついつまでも このまま二人
暮らしていたい みちのく小京都

山と川との 自然の中で
桜並木と 武家屋敷
時の流れが 止まったような
面影残す 佇まい
ああ 来世も共に 添い遂げたいと
願う二人の 郷愁角館（こしゅうかくのだて）

古城山城（こじょうざんじょう） 桧木内川（ひのきないがわ）
雪を纏った（まとった） 祭りの日
横顔照らす 火振り（ひぶり）の炎
凜々しいあなたを 引き立てる
ああ 幸せ願う 二人を包む
かまくらのよな 角館慕情